

外国語活動学習指導案

指導者 呉市立明德小学校 教諭 黒小 朋子
ALT Caridad Hirakawa

1 学 年 第6学年 17名

2 単元名 倉橋島おすすめメニューを紹介しよう！

3 単元について

○ 本単元は、世界にはいろいろな食文化があることを知り、料理の材料や味について尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむとともに、積極的に地域の名物を使った料理について紹介したり、友達の料理についての紹介を聞いたりすることを通して、地域や日本の食べ物のよさに気付かせることがねらいである。単元末には「倉橋島おすすめメニューを紹介しよう！」という活動を設定し、児童の住んでいる身近な地域の名物を使った料理を考えさせる。考えた料理をALTに紹介するという自己表現活動を行うことで、地域の名物を見直し、地域のよさに気付かせることができると考える。

○ 本学級の児童は、外国語活動に対して興味・関心をもち、外国語を用いてコミュニケーションを図ることを楽しみにしている。ALTや友だちと英語を使ったインタビュー活動を行う際には、進んで相手を見つけて活動する姿が見られる。ALTの発音を真似たり、歌やチャンツの活動をしたりすることを楽しみ、英語の音声や使用表現にも慣れ親しんでいる。

外国の言語や文化にも興味・関心をもっており、日本の言語や文化と異なる言語や文化との違いがあることは知っている。しかし、日本と異なる言語や文化との相違点や共通点に気付くまでには至っていない。

○ 指導に当たっては、児童の実態を踏まえ、授業に二つの工夫を取り入れ改善を図りたい。

一つ目は、言語や文化について、児童が「知る」「気付く」という段階を経て「深まる」に至るような指導過程を工夫し、その中で日本の言語や文化と異なる言語や文化とのかかわりを考える活動を設定することである。児童が異なる言語や文化を知るだけでなく、比較する活動を設定し、日本の言語や文化と異なる言語や文化との相違点や共通点に気付かせる。その気付きを活かした活動を設定し、使用表現に慣れ親しませる。そして、自己表現活動を通して日本の言語や文化の理解を深める。

二つ目は、題材の工夫である。児童にとって身近な題材を取り入れる。そうすることで、児童に日本の言語や文化と異なる言語や文化とを比較しやすくし、日本と異なる言語や文化との相違点や共通点に気付かせるようにしたい。また、単元の最後には、「倉橋島おすすめメニュー」を紹介するという活動を設定する。「ALTに倉橋島の名物を使った料理を紹介する。」という目的で、相手意識をもたせて活動をさせる。自分たちの住んでいる地域のよさを分かってもらおうとやりとりすることで、地域の名物を見直すことにつながると考える。

4 単元の目標

- ・世界には様々な食文化があることを知り、地域や日本の食べ物のよさに気付く。
- ・積極的に料理について紹介したり、友達の紹介を聞いたりする。
- ・料理の材料や味について尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむ。

5 単元の評価規準

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

- ・相手に伝わりやすい表現方法を工夫して、料理の材料や味を尋ね合う。

【外国語への慣れ親しみ】

- ・料理の材料や味について尋ねたり答えたりしている。

【言語や文化に対する気付き】

- ・世界で食べられているものを知り、地域や日本の食べ物のよさに気付いている。

6 単元の計画

時	目標・活動	評価				
		コ	慣	気	評価規準	評価方法
1	「たこ」を食べる国と食べない国があるなど、国によって食文化に違いがあることや、「octopus」の言葉の成り立ちの面白さを知る。 ・Let's Listen 1 「行きたい国とその理由を考えながら聞こう」をする。 ・クイズ 「どんな食べ物か考えよう」をする。 ・クイズ 「食べ物あてクイズ」をする。			◎	・国にはそれぞれの食文化があることや言葉の成り立ちの面白さを知る。	行動観察・振り返りカード分析
2 (本時)	ALT の国の名物についてのまとまった話を聞いて、味や材料について英語での言い方を知ったり、世界の食べ物と日本（倉橋島）の食べ物とを比べ、それぞれの食べ物に興味をもったりする。 ・ALT にフィリピンの食べ物を紹介してもらい、日本の食べ物と比べて感想を交流する。 ・Let's Chant “What's in it?” ・クイズ「外国で人気の日本食は？」をする。			◎	・世界の食べ物と日本（倉橋島）の食べ物を比べて、共通点や相違点に気付いている。 ・味や材料などの英語を聞いたり言ったりしている。	行動観察・振り返りカード分析・点検
3	味や材料について尋ねたり答えたりする言い方に慣れ親しむ。 ・Let's Chant “What's in it?” ・Activity「倉橋島おすすめメニューを作ろう」をする。		◎	○	・味や材料を尋ねたり、答えたりしている。 ・地域の名物に気付いている。	行動観察・振り返りカード分析・点検 ワークシート分析
4	ALT に倉橋島の名物を使った料理を進んで紹介する。 ・Let's Chant “What's in it?” ・Activity「倉橋島おすすめメニューを紹介しよう」	◎		○	・相手に伝わりやすい表現方法（声の大きさ、ジェスチャー、絵の使用等）を工夫して伝えようとしている。 ・地域の名物や日本の食べ物のよさに気付いている。	行動観察・振り返りカード分析・点検

7 本時の展開

第2時の目標 ALT の国の名物についてのまとまった話を聞いて、味や材料について英語での言い方を知ったり、世界の食べ物と日本（倉橋島）の食べ物とを比べ、それぞれの食べ物に興味をもったりする。

過程	児童の活動	HRT の活動	ALT の活動	・指導上の留意点 ◎評価規準（評価方法）【観点】 ◆国際理解の視点
挨拶	・挨拶をする。 Hello. I'm fine/ happy/sleepy/hungry.	・全体に挨拶をした後、全員の児童と挨拶をする。 Hello. How are you?		・これから授業が始まることを意識させるように、指導者は元氣よく挨拶をする。
復習	・味のヒントを聞いて何の食べ物か考える。	・ALT に味を尋ね、英語での言い方を聞かせる。	・味についてのヒントを含めて問題を出す。 It's sweet/sour/salty/ hot/bitter.	・前時に学習した味についての表現を、クイズを通して思い出させるようにする。
展開	・めあてをたてる。 ・フィリピンの食べ物について話を聞く。 ・倉橋島の名物を含めた日本の食べ物と外国の食べ物を比べる。	外国の食べ物と日本の食べ物を比べよう。 ・写真を提示したり、ALT に What's this? What's in it?や味について尋ねたりする。 ・日本のおはぎとフィリピンの B I K O を比べ、似ているところを考えさせる。 ・写真を提示したり、What's this?と尋ねたりする。	・フィリピンのおやつである B I K O について写真を提示し、英語で紹介する。 ・英語でヒントを出しながら、何の食べ物かを考えさせる。	・外国の食べ物と日本の食べ物を比較することで日本と外国の食べ物や食文化の共通点や相違点に気付くことができるようにさせる。 ◆日本と外国の違いだけでなく、共通点にも目を向けさせることで、外国と日本とのつながりに気付かせる。 ◎世界の食べ物と日本（倉橋島）の食べ物を比べて、共通点や相違点に気付いている。【気】 〈行動観察・振り返りカード分析〉
展開	【Let's Chant】 “What's in it?”	・絵を提示し、ALT の言ったことを繰り返し言わせたり、チャンツをしたりさせる。	・What's in it?や材料、味について英語で言い、児童とともにチャンツをする。	・絵を提示し、HRT と ALT が材料や味について尋ね合いながら表現を何度も聞かせてから、チャンツをさせる。
展開	【Activity】 「外国で人気の日本食は？」 ALT に「What's in it?」と尋ね、ALT の答えから食べ物を考えて答え、ランキング表を完成させる。	・児童とともに ALT に材料を尋ねたり、ALT の言ったことを繰り返したりする。	・児童に What's in it?と尋ねられ、材料や It's sweet/sour/salty/hot/bitter. などのヒントを出す。	・ただ単に ALT がヒントを出すのではなく、全員で ALT に「What's in it?」と尋ねることで表現に慣れ親しませるようにさせる。 ◎味や材料などの英語を聞いたり言ったりしている。【慣】 〈行動観察・振り返りカード点検〉
振り返り	・本時の振り返りをする。 ・挨拶をする。 Good-bye. See you.	・外国と日本の食べ物を比較して気付いたことについて評価する。 ・挨拶をする。 Good-bye. See you.	・主に英語を聞いたり、話したりすることについて評価する。 ・挨拶をする。 Good-bye. See you.	・児童のコミュニケーションへの態度や本時のねらいについてよかったところを具体的に挙げることで、児童に次時への意欲を高めるようにする。